



2026年2月1日発行
志田町保育室
園長 青木三佐子

餅つき会で子どもたちがついた餅に食紅で色を付け、2歳から5歳クラスの子どもたちが今年も餅花をつくりました。餅花は小正月（1月15日）に飾る風習が地方であります。枝に咲くように飾られた紅白の餅は、稲の花や繭玉を模しており、「今年も豊かに実りますように」という願いが込められています。子どもたちが春から育てる稲や野菜がたくさん実りますように・・・

保護者の皆様にはお忙しい中、生活発表会にご参加いただき、子ども達に惜しめない拍手をお送り頂きまして誠にありがとうございました。子ども達が緊張のため、その場で演技やダンスができなくなったり、逆に伸び伸びと表現したり、泣き出したり、赤面したりしながらも、それぞれが自分の思いや表現を伝えるために、最後までやり遂げる姿はとても微笑ましくもあり、たくましくも感じ、感激の時間でした。

さて、今年度残された期間はあと2か月。進級、就学を迎えます。子ども達が保護者の手から離れ、小学校への登校下校時に一人で安全に注意して道路を歩けるようになるには、毎日親子で保育園に登降園する経験の積み重ねは欠かせませんね。今月も子どもたちの安全を守りながら楽しい思い出を重ねて行きましょう。



最初にもち米を潰す



小さくちぎって



すずらん組



すみれ組



ひまわり組



「ツノは2本にしようかな!」「髪の毛は何色にしようかな?」。子どもたちのアイデアがたっぷり! とてもすてきな鬼のお面ができあがりました。飾ってみると、お部屋はまるで鬼ヶ島! 一人ひとりの個性があふれるお面はどことなく子どもたちに似ています。「鬼は外! 福は内!」。節分の日には、元気なかけ声が響き渡ることでしょう。